

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月10日

上場会社名 株式会社 近鉄エクスプレス  
 コード番号 9375 URL <http://www.kwe.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

(氏名) 石崎 哲  
 (氏名) 森 和也  
 配当支払開始予定日

上場取引所 東  
 TEL 03-3201-2627  
 平成21年12月10日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	94,741	△38.2	2,773	△51.1	2,927	△50.8	1,476	△56.3
21年3月期第2四半期	153,226	—	5,670	—	5,951	—	3,374	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	41.01	—
21年3月期第2四半期	93.74	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	107,380	65,080	58.4	1,741.81
21年3月期	109,153	61,873	55.1	1,670.18

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 62,704百万円 21年3月期 60,125百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	13.00	—	14.00	27.00
22年3月期	—	7.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	8.00	15.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	202,000	△22.4	7,900	△12.5	8,100	△12.0	4,500	29.4	125.00

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 36,000,000株 21年3月期 36,000,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 551株 21年3月期 473株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 35,999,455株 21年3月期第2四半期 35,999,615株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.平成21年8月5日に公表いたしました通期の連結業績予想は、本資料において修正しております。

2.本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等について、及び上記1に係る業績予想の具体的修正内容は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）（以下、当第2四半期（6ヶ月）という。）における世界経済は、昨年からの金融危機が峠を超えたものの主要各国の金融緩和と財政政策に支えられている面が大きく、本格的な回復への軌道は確認できず引き続き低い水準で推移いたしました。

我が国経済は、輸出と生産の増加で景気が持ち直しつつありますが前年同期を下回った水準であり、また、個人消費や設備投資の足取りは重く、持続的な回復にはなお不透明感が払拭されない状況が続きました。

当社グループの当第2四半期（6ヶ月）の航空貨物輸送は、日本およびアジア地域で徐々に荷動きに改善が見られましたが米欧地域では大きな回復が見られず、グループ全体の航空輸出貨物重量は前年同期比34.2%減、航空輸入貨物件数は同21.5%減となりました。一方、海上貨物輸送は、輸出容積で前年同期比21.8%減、輸入件数でも同14.8%減となり、航空同様、取り扱いは前年同期を大きく下回りました。

#### <日本>

航空輸出貨物は、中国の内需拡大策の影響や在庫調整の一巡もあり、台湾、中国向けを中心に液晶関連品の部材や電子部品等で活発な荷動きが見られましたがその他の地域向けでは緩やかな回復にとどまり、取扱い重量は前年同期比29.4%減となりました。航空輸入貨物は、アジア発を中心に半導体、電子部品、液晶関連品で物量の減少幅が縮小し、取扱い件数は前年同期比17.1%減となりました。海上輸出貨物では、建設機械や化学品の荷動きが好調であったものの自動車関連品等の取扱いが減少し、輸出容積で前年同期比8.1%減となりました。海上輸入貨物では、アパレル品や雑貨、自動車部品等が減少し、取扱い件数で同8.0%減となりました。この結果、国内関係会社を含めた日本の営業収入は43,998百万円となり前年同期比31.7%減となりました。

#### <米州>

航空輸出貨物は、一部で液晶関連品の部材等のスポット貨物が見られましたが半導体や自動車関連品等での物量の落ち込みが大きく、取扱い重量は前年同期比33.0%減となりました。航空輸入貨物も、期初から大きな回復が見られず、取扱い件数で前年同期比25.4%減となりました。海上貨物は、輸出容積で前年同期比9.9%減、輸入件数で同11.0%減となりました。この結果、米州全体の営業収入は13,118百万円、前年同期比40.2%減となりました。

#### <欧州・アフリカ>

航空輸出貨物は、石油プラント関連の出荷が順調に推移した一方、エレクトロニクス関連の既存顧客を中心に輸送需要が大きく減少し、取扱い重量は前年同期比38.0%減となりました。航空輸入貨物では、一部で自動車関連品等のスポット貨物があったものの主な輸入先である日本からの荷動きに大きな回復が見られず、取扱い件数は前年同期比23.8%減となりました。海上貨物は、輸出容積で前年同期比12.3%減、輸入件数で同14.0%減となりました。この結果、欧州・アフリカ全体の営業収入は8,695百万円、前年同期比44.6%減となりました。

#### <東アジア・オセアニア>

航空輸出貨物は、米欧向けを中心とした外需の減少を背景に生産調整が多くで見られ、エレクトロニクス関連品等の物量が大幅に落ち込み、取扱い重量で前年同期比42.2%減となりました。航空輸入貨物は、中国での内需拡大策により液晶関連品を中心に一部で活発な荷動きがありました但し全体的な回復には至らず、取扱い件数は前年同期比23.7%減となりました。海上貨物も大きく落ち込み、輸出容積で前年同期比27.6%減、輸入件数で同22.7%減となりました。この結果、東アジア・オセアニア全体の営業収入は23,803百万円となり前年同期比44.0%減となりました。

#### <東南アジア・中近東>

航空輸出貨物は、荷主の生産調整が多くで見られ、取扱い重量は前年同期比25.6%減となりました。航空輸入貨物は、エレクトロニクス関連の部品・部材の入荷が低調で、取扱い件数は同21.0%減となりました。海上貨物は、輸出容積で前年同期比26.0%減、輸入件数で同16.7%減となりました。この結果、東南アジア・中近東全体の営業収入は7,669百万円、前年同期比38.9%減となりました。

当社グループは一体となって販売活動、加えてコスト削減を強力に推進してまいりましたが、以上のとおり、世界景気の低迷を背景に取扱い物量が大幅に減少し、当第2四半期（6ヶ月）の連結営業収入は94,741百万円（前年同期比38.2%減）、営業利益は2,773百万円（同51.1%減）、経常利益は2,927百万円（同50.8%減）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、営業未収入金が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べて1,773百万円減少し、107,380百万円となりました。

負債は、営業未払金や借入金が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ4,979百万円増加し、42,299百万円となりました。純資産は、利益剰余金や為替換算調整勘定などが増加したことにより前連結会計年度末に比べ3,206百万円増加し、65,080百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の連結業績予想につきまして、以下のとおり修正いたしました。

### (1) 第2四半期連結累計期間の予想値と実績値との差異（平成21年4月1日～平成21年9月30日）

（単位：百万円）

	営業収入	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A） （平成21年8月5日発表）	92,000	2,300	2,500	1,300	36円11銭
実績値（B）	94,741	2,773	2,927	1,476	41円01銭
増減額（B）－（A）	2,741	473	427	176	－
増減率（％）	3.0	20.6	17.1	13.6	－
（参考）前年同期実績	153,226	5,670	5,951	3,374	93円74銭

### (2) 通期予想の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（単位：百万円）

	営業収入	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （平成21年8月5日発表）	206,000	6,500	6,500	3,800	105円56銭
今回修正予想（B）	202,000	7,900	8,100	4,500	125円00銭
増減額（B）－（A）	△4,000	1,400	1,600	700	－
増減率（％）	△1.9	21.5	24.6	18.4	－
（参考）前期実績	260,330	9,025	9,203	3,478	96円62銭

（注）通期業績予想につきましては、本年8月5日の第1四半期決算短信において公表しておりますが、同数値は本年5月12日に公表した数値と同じであります。

### (3) 修正の理由

個別業績において日本発航空貨物の取扱い物量が想定以上の水準で推移し、加えて前期より継続している全社的な合理化策による費用削減効果も進んでおり、また、連結業績におきましても東アジア地域での収支改善効果もあり、上記のように修正いたしました。

(参考) 個別業績予想の修正

平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の個別業績予想につきましても、同様の理由で以下のとおり修正いたしました。

(1) 第2四半期累計期間の予想値と実績値との差異(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	営業収入	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
前回発表予想(A) (平成21年8月5日発表)	32,000	300	1,200	1,000	27円78銭
実績値(B)	34,133	673	1,730	1,209	33円61銭
増減額(B)－(A)	2,133	373	530	209	－
増減率(%)	6.7	124.4	44.2	21.0	－
(参考)前年同期実績	52,215	533	1,388	813	22円59銭

(2) 通期予想の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位:百万円)

	営業収入	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期 純利益
前回発表予想(A) (平成21年8月5日発表)	71,000	1,300	3,200	2,600	72円22銭
今回修正予想(B)	71,000	1,690	3,930	2,900	80円56銭
増減額(B)－(A)	0	390	730	300	－
増減率(%)	0	30.0	22.8	11.5	－
(参考)前期実績	89,827	106	2,816	300	8円34銭

(注) 業績の予想に関する注意事項

上記の予想数値は現時点で得られた情報に基づいて判断したものであり、実際の業績はさまざまな要因により当該予想と異なる可能性があります。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

影響が僅少なものであるについて、一部簡便な方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

在外連結子会社の収益及び費用は、従来、当該子会社の決算日の直物為替相場により換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間から期中平均相場により換算しております。

この変更は、近年の為替相場の著しい変動や、在外子会社の事業規模が拡大しその重要性が益々高まった等の事情を勘案し、連結会計期間を通じて発生する損益をより適切に連結財務諸表に反映させるために行うものであります。

これにより、従来の方法によった場合と比較して、当第2四半期連結累計期間において営業収入は1,268百万円減少、営業利益は8百万円増加、経常利益は3百万円減少、税金等調整前四半期純利益は23百万円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,788	26,294
受取手形及び営業未収入金	33,124	35,235
その他	3,714	3,802
貸倒引当金	△259	△225
流動資産合計	62,367	65,107
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,868	17,180
土地	10,809	9,455
その他（純額）	4,978	4,570
有形固定資産合計	33,655	31,207
無形固定資産		
のれん	133	271
その他	2,128	2,273
無形固定資産合計	2,261	2,544
投資その他の資産	9,094	10,293
固定資産合計	45,012	44,045
資産合計	107,380	109,153
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	14,852	15,871
短期借入金	11,710	12,602
未払法人税等	1,239	1,711
賞与引当金	1,259	1,419
役員賞与引当金	60	191
その他	7,340	8,835
流動負債合計	36,462	40,632
固定負債		
長期借入金	3,433	4,762
退職給付引当金	1,742	1,120
その他	660	762
固定負債合計	5,837	6,646
負債合計	42,299	47,279

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,216	7,216
資本剰余金	4,867	4,867
利益剰余金	54,653	53,681
自己株式	△1	△1
株主資本合計	66,735	65,763
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△496	△415
為替換算調整勘定	△3,534	△5,223
評価・換算差額等合計	△4,031	△5,638
少数株主持分	2,375	1,748
純資産合計	65,080	61,873
負債純資産合計	107,380	109,153

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業収入	153,226	94,741
営業原価	130,501	77,929
営業総利益	22,724	16,812
販売費及び一般管理費	17,053	14,039
営業利益	5,670	2,773
営業外収益		
受取利息	205	86
受取配当金	18	24
負ののれん償却額	14	17
為替差益	138	215
雑収入	184	111
営業外収益合計	561	455
営業外費用		
支払利息	206	160
持分法による投資損失	57	113
雑支出	16	27
営業外費用合計	280	301
経常利益	5,951	2,927
特別利益		
前期損益修正益	25	—
固定資産売却益	9	6
特別利益合計	34	6
特別損失		
固定資産除却損	3	15
投資有価証券評価損	93	30
ゴルフ会員権評価損	—	1
事業再編損	—	34
営業拠点閉鎖費用	—	213
損害補償損失引当金繰入額	46	—
特別損失合計	142	296
税金等調整前四半期純利益	5,843	2,637
法人税等	2,214	1,002
少数株主利益	254	158
四半期純利益	3,374	1,476



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,843	2,637
減価償却費	1,678	1,540
のれん償却額	24	24
負ののれん償却額	△14	△17
賞与引当金の増減額 (△は減少)	46	△204
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△159	△138
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	126	613
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△20	11
受取利息及び受取配当金	△223	△111
支払利息	206	160
持分法による投資損益 (△は益)	57	113
固定資産売却損益 (△は益)	△9	△6
固定資産除却損	3	15
投資有価証券評価損益 (△は益)	93	30
ゴルフ会員権評価損	—	1
損害賠償損失引当金繰入額	46	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△414	4,306
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,509	△2,256
その他	△2,126	△446
小計	3,648	6,273
利息及び配当金の受取額	253	161
利息の支払額	△223	△198
独占禁止法関連損失の支払額	—	△1,494
法人税等の支払額	△2,826	△1,351
営業活動によるキャッシュ・フロー	851	3,390
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△12	△98
定期預金の払戻による収入	149	74
有形固定資産の取得による支出	△1,008	△1,321
有形固定資産の売却による収入	18	27
投資有価証券の取得による支出	△3,004	△11
投資有価証券の売却及び償還による収入	53	28
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△114
貸付けによる支出	△2	△10
貸付金の回収による収入	4	36
敷金及び保証金の差入による支出	△236	△191
敷金及び保証金の回収による収入	149	283
その他	56	△161
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,832	△1,459

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,637	△2,616
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△44	△61
長期借入れによる収入	2,610	328
長期借入金の返済による支出	△3,450	△540
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△467	△503
少数株主への配当金の支払額	△147	△177
財務活動によるキャッシュ・フロー	137	△3,571
現金及び現金同等物に係る換算差額	△902	1,083
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,745	△556
現金及び現金同等物の期首残高	28,500	25,904
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,754	25,348

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

貨物運送事業の営業収入及び営業利益の金額は、全セグメントの営業収入の合計及び営業利益の合計に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

貨物運送事業の営業収入及び営業利益の金額は、全セグメントの営業収入の合計及び営業利益の合計に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州・ アフリカ (百万円)	東アジア・ オセアニア (百万円)	東南アジア・ 中近東 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
営業収入								
(1) 外部顧客に対する 営業収入	63,842	19,946	15,155	41,953	12,329	153,226	—	153,226
(2) セグメント間の内 部営業収入又は振 替高	621	1,976	545	522	230	3,894	△3,894	—
計	64,463	21,922	15,700	42,475	12,559	157,121	△3,894	153,226
営業利益	1,225	1,282	494	2,006	656	5,665	4	5,670

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州・ アフリカ (百万円)	東アジア・ オセアニア (百万円)	東南アジア・ 中近東 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
営業収入								
(1) 外部顧客に対する 営業収入	43,598	11,746	8,440	23,441	7,515	94,741	—	94,741
(2) セグメント間の内 部営業収入又は振 替高	399	1,371	255	362	153	2,543	△2,543	—
計	43,998	13,118	8,695	23,803	7,669	97,285	△2,543	94,741
営業利益 又は営業損失(△)	827	452	△250	1,467	307	2,804	△31	2,773

(注) 1. 地域区分は事業活動の相互関連性及び地理的近接度を考慮し、区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域は次のとおりであります。

(1) 米州……………米国、カナダ、及び中南米諸国

(2) 欧州・アフリカ……………英国、ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、ベルギー、スイス、アイルランド、ロシア、南アフリカ及びその他の欧州、アフリカ諸国

(3) 東アジア・オセアニア……………香港、中国、韓国、台湾、フィリピン、オーストラリア

(4) 東南アジア・中近東……………シンガポール、マレーシア、タイ、インド、インドネシア、ベトナム、中近東諸国

3. 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続き、表示方法等の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より在外子会社の収益及び費用は期中平均相場により換算しております。
- この変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して、当第2四半期連結累計期間の営業収入が米州で74百万円、欧州・アフリカで756百万円、東アジア・オセアニアで266百万円、東南アジア・中近東で208百万円それぞれ減少しております。また、営業利益が米州で2百万円、東アジア・オセアニアで7百万円、東南アジア・中近東で8百万円それぞれ減少しており、欧州・アフリカで25百万円増加しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	米州	欧州・アフリカ	東アジア・オセアニア	東南アジア・中近東	計
I 海外営業収入（百万円）	19,948	15,159	41,954	12,330	89,392
II 連結営業収入（百万円）	—	—	—	—	153,226
III 海外営業収入の連結営業収入に占める割合（%）	13.0	9.9	27.4	8.0	58.3

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	米州	欧州・アフリカ	東アジア・オセアニア	東南アジア・中近東	計
I 海外営業収入（百万円）	11,748	8,443	23,442	7,515	51,150
II 連結営業収入（百万円）	—	—	—	—	94,741
III 海外営業収入の連結営業収入に占める割合（%）	12.4	8.9	24.7	7.9	54.0

(注) 1. 地域区分は事業活動の相互関連性及び地理的近接度を考慮し、区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域は次のとおりであります。

- (1) 米州……………米国、カナダ、及び中南米諸国
- (2) 欧州・アフリカ……………英国、ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、ベルギー、スイス、アイルランド、ロシア、南アフリカ及びその他の欧州、アフリカ諸国
- (3) 東アジア・オセアニア……………香港、中国、韓国、台湾、フィリピン、オーストラリア
- (4) 東南アジア・中近東……………シンガポール、マレーシア、タイ、インド、インドネシア、ベトナム、中近東諸国

3. 海外営業収入は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における営業収入であります。

4. 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続き、表示方法等の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より在外子会社の収益及び費用は期中平均相場により換算しております。
- この変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して、当第2四半期連結累計期間の海外営業収入が米州で66百万円、欧州・アフリカで737百万円、東アジア・オセアニアで260百万円、東南アジア・中近東で203百万円それぞれ減少しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。